



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月10日

上場会社名 ダイコク電機株式会社  
 コード番号 6430 URL <http://www.daikoku.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括部長  
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東 名

(氏名) 栢森 秀行  
 (氏名) 丹羽 時重

TEL 052-581-7111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	47,229	△4.2	6,448	△16.0	6,545	△16.5	3,936	△12.6
25年3月期第3四半期	49,290	25.4	7,675	96.5	7,841	101.5	4,506	132.2

(注)包括利益 26年3月期第3四半期 3,950百万円 (△12.4%) 25年3月期第3四半期 4,508百万円 (129.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	266.31	—
25年3月期第3四半期	304.85	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%		%
26年3月期第3四半期	54,960		33,059			60.2
25年3月期	56,706		30,439			53.7

(参考)自己資本 26年3月期第3四半期 33,059百万円 25年3月期 30,439百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	20.00	—	70.00	90.00
26年3月期	—	20.00	—		
26年3月期(予想)				30.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	55,000	△6.6	5,000	△28.8	5,000	△31.0	3,000	△27.9	202.93

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	14,783,900 株	25年3月期	14,783,900 株
26年3月期3Q	488 株	25年3月期	488 株
26年3月期3Q	14,783,412 株	25年3月期3Q	14,783,534 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。  
なお、業績予想に関しては、添付資料3ページの「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報.....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報.....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報.....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報.....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項.....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動.....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用.....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示.....	3
3. 四半期連結財務諸表.....	4
(1) 四半期連結貸借対照表.....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書.....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間.....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項.....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策により企業の業況判断や雇用情勢は改善されるなか、設備投資や個人消費は持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかに回復しつつあります。

当社グループが携わる余暇産業であるパチンコ業界におきましては、まだ波及効果は出てきておらず、パチンコ遊技機では、依然として4円貸しパチンコの稼動が低下しており、顧客であるパチンコホールでは、厳しい状況が続いております。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、ファンに向けたホール環境の遊技性向上を目指した情報公開機器「BiGMO」や「I L-X」の販売強化に努めました。また、展示会「MIRAI GATE 2013～次世代エンターテイメント・ホールづくりの新基準～」にて評価されました「BiGMO PREMIUM」を11月にリリースいたしました。制御システム事業におきましては、「顧客への貢献」を目指して、演出ユニットの企画提案活動や、グループ会社を含めた開発ラインの増強を図り、企画開発力強化に取組みました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高472億29百万円（前年同期比4.2%減）、営業利益64億48百万円（同16.0%減）、経常利益65億45百万円（同16.5%減）、四半期純利益39億36百万円（同12.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

## (情報システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、ホール店舗システムと一体となりセキュリティや効率的な運用を評価されたCRユニット「VEGASIA」及び遊技台の多様なゲーム性をファンに分かりやすく伝える情報公開機器「BiGMO」、さらに大型モニター化され11月に販売を開始した「BiGMO PREMIUM」や多彩なイルミネーションの呼出ランプ「I L-X」等が引き続き市場で評価されました。また、MIRAI GATEネットワークを活用したホール支援サービス「CIIスタンダード」もサービス内容の充実を図り顧客満足度の更なる向上を図りました。そして、パチンコホールから製品優位性において高く評価されるなか、次世代主力製品群開発への積極投資を開始いたしました。

この結果、当事業の売上高は288億46百万円（前年同期比4.4%増）、セグメント利益は60億9百万円（同7.2%減）となりました。

## (制御システム事業)

当事業の第3四半期連結累計期間は、企画提案力の強化、及びグループ会社との融合による開発ラインの増強に努めました。また、液晶パネルやモーター、スイッチ、電源等周辺部品の販売が好調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は183億82百万円（前年同期比15.1%減）、セグメント利益は18億48百万円（同35.0%減）となりました。

(注) セグメントの業績の金額には、セグメント間取引が含まれております。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前第4四半期連結会計期間に比べ、当第3四半期連結会計期間の売上が好調に推移したことにより売上債権は増加しましたが、仕入債務や法人税等の支払いにより現預金が減少したこと、及びたな卸資産が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比べ17億45百万円減少の549億60百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、仕入債務及び未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ43億65百万円減少の219億1百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、配当金の支払いより当四半期純利益が大きかったことによる利益剰余金の増加により、前連結会計年度末に比べ26億20百万円増加の330億59百万円となり、自己資本比率は60.2%（前連結会計年度末比6.5ポイント上昇）となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年5月13日に公表いたしました通期の業績予想を修正いたしました。詳細につきましては本日別途開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、業績等に影響を与える事業等のリスクについては、最近の有価証券報告書（平成25年6月28日提出）により開示を行った内容から重要な変更はありません。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	51,000	4,000	4,000	2,000	135.29円
今回修正予想(B)	55,000	5,000	5,000	3,000	202.93円
増減額(B-A)	4,000	1,000	1,000	1,000	—
増減率(%)	7.8	25.0	25.0	50.0	—
(ご参考)前期実績 (平成25年3月期)	58,861	7,023	7,244	4,161	281.53円

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	18,506,088	15,211,645
受取手形及び売掛金	11,538,600	17,502,619
商品及び製品	5,670,199	3,203,802
仕掛品	126,550	65,612
原材料及び貯蔵品	2,851,110	1,810,703
繰延税金資産	487,980	—
その他	676,944	1,267,237
貸倒引当金	△67,660	△77,895
流動資産合計	39,789,814	38,983,726
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,316,498	4,097,882
土地	4,220,795	4,220,795
その他(純額)	969,029	850,176
有形固定資産合計	9,506,323	9,168,855
無形固定資産		
ソフトウェア	1,617,077	1,422,851
その他	135,762	34,652
無形固定資産合計	1,752,839	1,457,504
投資その他の資産		
繰延税金資産	2,464,963	2,204,912
投資不動産(純額)	971,415	960,955
長期預金	600,000	500,000
その他	1,874,733	1,899,627
貸倒引当金	△253,494	△214,745
投資その他の資産合計	5,657,618	5,350,749
固定資産合計	16,916,781	15,977,109
資産合計	56,706,595	54,960,835

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	18,137,268	15,814,400
1年内返済予定の長期借入金	399,866	441,533
未払法人税等	2,731,980	876,654
繰延税金負債	—	189,516
役員賞与引当金	178,884	118,039
その他	3,096,633	3,038,061
流動負債合計	24,544,634	20,478,204
固定負債		
長期借入金	870,133	550,233
退職給付引当金	248,091	243,553
役員退職慰労引当金	370,617	392,966
その他	233,784	236,329
固定負債合計	1,722,627	1,423,083
負債合計	26,267,261	21,901,287
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	674,000	674,000
資本剰余金	680,008	680,008
利益剰余金	29,079,569	31,685,963
自己株式	△945	△945
株主資本合計	30,432,632	33,039,026
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,701	20,521
その他の包括利益累計額合計	6,701	20,521
純資産合計	30,439,333	33,059,547
負債純資産合計	56,706,595	54,960,835

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	49,290,596	47,229,662
売上原価	32,900,117	31,854,007
売上総利益	16,390,479	15,375,654
延払販売未実現利益戻入	15,496	18,926
延払販売未実現利益控除	24,005	—
差引売上総利益	16,381,970	15,394,580
販売費及び一般管理費	8,706,783	8,945,644
営業利益	7,675,187	6,448,936
営業外収益		
受取利息	6,641	4,904
受取配当金	6,374	6,341
不動産賃貸料	54,944	54,376
その他	159,306	77,137
営業外収益合計	227,266	142,759
営業外費用		
支払利息	16,033	4,917
不動産賃貸費用	36,399	31,282
その他	8,059	10,350
営業外費用合計	60,493	46,551
経常利益	7,841,960	6,545,145
特別利益		
固定資産売却益	1,340	1,028
関係会社株式売却益	40,630	—
負ののれん発生益	2,685	—
その他	114	—
特別利益合計	44,770	1,028
特別損失		
固定資産除却損	17,302	111,933
減損損失	276,378	—
その他	54,839	19,999
特別損失合計	348,519	131,933
税金等調整前四半期純利益	7,538,211	6,414,240
法人税、住民税及び事業税	3,624,081	1,547,331
法人税等調整額	△596,006	930,007
法人税等合計	3,028,075	2,477,339
少数株主損益調整前四半期純利益	4,510,136	3,936,901
少数株主利益	3,313	—
四半期純利益	4,506,822	3,936,901



四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,510,136	3,936,901
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,149	13,819
その他の包括利益合計	△1,149	13,819
四半期包括利益	4,508,987	3,950,720
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,505,673	3,950,720
少数株主に係る四半期包括利益	3,313	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,629,585	21,661,011	49,290,596	—	49,290,596
セグメント間の内部売上高 又は振替高	7,162	632	7,794	△7,794	—
計	27,636,748	21,661,643	49,298,391	△7,794	49,290,596
セグメント利益	6,477,682	2,842,115	9,319,798	△1,644,611	7,675,187

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,644,611千円には、セグメント間取引消去6,169千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,650,781千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「制御システム事業」セグメントにおいて、今後利用計画のない遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失として、特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては、276,378千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	情報システム事業	制御システム事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,846,832	18,382,830	47,229,662	—	47,229,662
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	28,846,832	18,382,830	47,229,662	—	47,229,662
セグメント利益	6,009,452	1,848,498	7,857,951	△1,409,015	6,448,936

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,409,015千円には、セグメント間取引消去2,081千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,411,096千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。